



ご当地 **よ坊さん** 茨城

みがこーモン

茨 歯 会 報

No.540

茨城県歯科医師会

Ibaraki Dental Association

March

2014

平成26年

3





Contents

デンタルアイ	1
渡 辺 進	
会務	4
理事会報告	17
会務日誌	18
学術委員会だより	21
センターだより	26
専門学校だより	28
同窓会だより	30
地区通信	34
ピンクのエプロン	37
松 本 孝 子	
リレー通信	38
滝 靖 宗	
会員の異動	40
国保組合 NEWS	41
茨歯アンテナ	42
赤えんぴつ	43

表紙写真について

百里基地航空祭

百里基地の航空祭（2013年9月8日）に行ってきた。

悪天候のため飛行は中止になり、地上展示のみの航空祭となってしまいました。折角のブルーインパルスも、何となく寂しげに見えます。

（社）茨城西南歯科医師会 加藤 昌裕

地域保健委員会の仕事



常務理事
渡 辺 進

4月の保険点数改訂も消費税増加分の損税を補い、画期的な増点とはなりませんでした。消費税が上がってデフレから脱却できるのか、オリンピックが終わって各地の紛争が表面化し景気が冷え込むのか歯科医師としては想像のしようありません。ただ毎日の診療に精を出し、地域の保健活動に寄与する事が、今出来る事だと考えています。

茨城県歯科医師会地域保健委員会及び6424室でも数多くの事業があります。会報、HP等でその都度ご紹介していますが、ここでひとまとめとしてご紹介したいとおもいます。

（1）母子保健関連事業

歯と口腔の健康づくりを目的とした「8020・6424運動」の一環として、家族ぐるみの歯科保健の意識の向上と、幼児及び母親・父親の歯と口腔の健康の保持増進を図ることを目的として満3歳から6歳の子とその親（母または父）を対象とした「親と子のよい歯のコンクール」を行っています。

（2）高齢者対策事業

80歳で20本以上の歯を残すことを目標とした「8020運動」に加え、県と本会の独自の「6424

運動」は64歳で24本の歯を残すことを目標に設定した運動であり、その運動推進のため「高齢者よい歯のコンクール」を開催しています。生涯を通じた口腔保健の向上による健康の保持増進の啓発普及を目的としています。



親と子のよい歯のコンクール（母と子）表彰



8020高齢者よい歯のコンクール表彰

（3）歯科保健賞事業

県の歯科保健の向上に尽くされた個人、団体を表彰するものであって、選出した候補者について、歯科保健活動の功績、今後に期待できる活動や波及効果等を協議し、個人の部、団体の部の受賞者と奨励賞を決定し、茨城県民歯科保健大会で表彰を行っています。



歯科保健大会主催者挨拶（森永歯科医師会会長）

（４）歯科保健大会表彰

「歯科保健賞」「親と子のよい歯のコンクール」「高齢者よい歯のコンクール」「歯と口の健康に関するポスターコンクール」の各受賞者・団体への表彰を行い、かつ、各表彰を広報する。午後は、フェスティバルで「噛むかむチェック」を行っている。



歯と口の健康に関するポスターコンクール表彰

（５）食育関連事業

噛むことの重要性を普及するため、噛む回数を増やすレシピを広く募集し、優秀作品を広く周知し、顕彰することで、県民の適切な食習慣と健全な口腔機能の維持向上についての普及啓発を図るため「噛むかむレシピコンテスト」を行っている。

具だくさんカムカムスープ（１人分）



調理時間 25分

大洗町 加倉井咲新 様

 アピールポイント

1位から3位のを、たくさん入れました。具だくさんにして、冬は寒いので、あったまえるようにしました。レンコン、ごぼうを、下ゆでしないで食感を残すようにしました。

（６）産業口腔保健事業

働き盛り世代の歯周病予防と生涯を通じた歯と口腔の健康づくりについての知識の普及と意識の向上を図ることを目的とした「健口・歯つらつ事業所出前教室」を行っています。

（７）口腔機能健康測定事業

平成25年度に実施する坂東市、桜川市、結城市、常総市、境町、五霞町に加え、26年度から古河市も含め7市町から、県歯科医師会に事業委託され、地域の歯科医師会主体で連携し、地域住民の口腔機能検査（唾液検査・ガム検査、問診によるスクリーニング検査）と結果の説明を行っています。また、歯周病についての正しい知識の普及と適切な治療や予防処置についての指導を行うことによって、市民の口腔衛生の向上による健康増進を目的としています。

（８）啓発普及ポスターリーフレット作成

妊娠期から乳幼児期の歯科保健、成人期の歯科保健、禁煙指導、口腔保健と生活習慣病等をテーマに、ポスターやリーフレットを作成し、歯科医院、市町村、関係機関等へ配布し、保健指導や啓発普及に活用する。また、歯科保健のイベントやブース出展の際、保健指導や情報提供に活用を図っている。

また同様の目的を持ったパネルの作成も行っており、各種イベント等へ無料で貸し出しを行っています。

（９）事業所歯周病対策事業

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりを推進するため、職域における歯周病予防の意識向上を図り、従業員の歯科保健の向上を図ることを目的として事業所衛生管理者等の職域担当者に対

し、歯周病予防に関する研修を行い、事業所における歯科保健対策の推進を図っています。

(10) 歯科医院禁煙支援事業

喫煙が及ぼす口腔への影響についての正しい知識を普及するとともに、県民の禁煙を支援するため、「禁煙支援・相談歯科医院」の認証とホームページによる認証歯科医院の公開をしています。また、禁煙支援を推進するための研修会を開催しています。

「禁煙支援・相談歯科医院」においては、喫煙が及ぼす口腔や全身の健康への影響について保健指導や相談を行い、禁煙の支援を行っています。

実施年度	登録医院数	相談件数
21年度	174	328
22年度	234	653
23年度	285	1,215
24年度	308	936

(11) 歯科保健媒体・データの作成

各種媒体データの構築、整理、HP上での公開。(県委託事業部分)

(12) 生活習慣病歯科対策事業

毎年、歯科医学会において日本糖尿病協会認定の講演会を行い、会員の皆さんの単位取得をお手伝いしています。

(13) 歯科保健相談事業

市町村、学校、事業所、関係団体、一般県民からの歯科保健に関する相談を受ける事業。

以上、多岐にわたった事業があります。この活動を通して地域社会に歯科の仕事が理解され、県民の皆さんの健康に関与できることを願っています。実行に際しては地域保健委員の皆さん、支えていただいている皆さん、6424室でただ1人頑張っている藤田コーディネータに頭の下がる思いです。



We try best!
For healthy and white teeth



株式
会社

岩瀬歯科商会

本 社
水戸支店
宇都宮支店
松戸支店
野木支店

〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7
〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18
〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6
〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366
〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15

TEL 03-3832-8241
TEL 029-225-6543
TEL 028-613-5858
TEL 047-345-3131
TEL 0280-56-0567

千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所



平成25年度『茨城県こどもを守る 110番の家ネットワーク会議』報告

茨城県歯科医師会理事 長谷部 和子

平成25年度『茨城県こどもを守る110番の家ネットワーク会議』が、平成26年2月28日（金）茨城県警察本部9階会議室で開催されましたので、その概要を報告いたします。

会議の前に、ネットワーク参加団体である「茨城元気計画（時空戦士イバライガー）」がこども向け安全教育教材「イカのおすし講座」のDVDを製作したことが報告され、完成披露試写会（10分程度）を行い、関係団体（茨城県児童館協議会）への寄贈が行われ、マスコミ取材もありました。

—会議の概要—

1. 挨拶

- ・ネットワーク会長（PTA連絡協議会会長）
- ・茨城県警察本部 生活安全部長

2. 現況説明

- （1）県における子どもを守るための施策について～茨城県教育庁保健体育課（学校安全対策班）

○平成25年度不審者情報について

- ①掲示板書き込み状況：各学校から県教育委員会の掲示板に書き込む。

- ・書き込み件数：148件
- ・不審者に遭遇した被害者は、小学生（55件）、中学生（44件）、高校生（40件）

②月別書き込み件数：5月～7月、9月、12

月～1月に多くなる傾向にある。

③不審者被害別状況

- ・声かけ（33件）、つきまとい（25件）、露出（25件）、性的被害（24件）が多い。

④学校種別の不審者情報

- ・小学生においては、つきまとい、声かけ、露出の順に多い。
- ・中学生においては、声かけと露出が最も多く、次いでつきまといと性的被害が多い。
- ・高校生においては、性的被害が最も多く、抱きつく、抱きかかえられ鼻と口を押さえられる、スカートをめくる、体を触るなどであった。

⑤校種別の不審者遭遇時間帯

- ・小学生においては、15：00～17：00の下校時間帯に集中。
- ・中学生においては、7：00～9：00（登校時）、15：00～17：00と17：00～19：00（下校時）に多い。
- ・高校生においては、17：00～23：00までの時間帯が特に多い。

※登校時間や夜間の指導が重要となる。

- ⑥不審者遭遇時の児童生徒の人数：一人の時間が94%と突出しており、下校時一人にならないような対策が必要である。

○学校安全に係る取組について

①防犯教室指導者講習会：各公立小学校の安全担当教員を対象に実施。

平成25年は10月8日（火）に行った。

②緊急情報メール配信システム運用事業：緊急かつ重大な事件・事故が発生した際に、学校から保護者に対して、正確な情報を速やかに伝えるメール配信システムを構築。

- ・学校から保護者
- ・県や市町村教育委員会から学校
- ・学校間における情報伝達

(2) 県内の治安情勢について～茨城県警察本部（生活安全総務課）

○刑法犯認知件数は、平成14年を100とすると51.8%に減少しているが、全国順位はワースト10位である。窃盗全体では大きく減少しているが、自動車盗・路上強盗が前年比で30%増えていて、自動車盗は全国ワースト1位である。茨城県の特徴は貨物自動車が盗まれる割合が64%を超えていることで、県南や県西に多い。振り込め詐欺は、前年比161%で大幅に増えており、被害者は60歳以上の女性が8割となっている。

(3) 不審者情報分析結果について～茨城県警察本部（生活安全総務課）

○小学生、中学生ともに、下校途中の路上、裏通り、暗いところでの不審者情報が多い。

3. 議事

(1) 参画団体の動静：2団体が除籍、新たに2団体が参画し48団体となる。

- ・住友林業株式会社住宅事業本部水戸支店
- ・松丸工業株式会社

(2) 昨年の実績活動紹介

- ・茨城県石油商業組合：「かけこみ110番」をモチーフとしたクリアファイルを製作し、

県内全小学校の新入生へ配布。スタンドに「かけこみ110番」ののぼり旗を掲示。水戸市立吉田小学校と連携し、駆け込み訓練を実施。

- ・ヤマト運輸株式会社茨城主管支店：小学校、幼稚園、保育園を対象に「子ども安全教育」を実施（73回5,960人）。ドライバーに対して不審者情報等のメールを発信。
- ・茨城県商工会青年部連合会：自家用車、営業車に防犯マグネットシールを貼付し、各自巡回パトロールを実施。
- ・茨城元気計画：「イカのおすし講座」DVDの製作と寄贈。幼稚園、保育園、小学校を訪問しての子どもの安全対策をテーマとしたキャラクターショー。
- ・茨城県金融機関防犯連絡会連合会：防犯かさこじぞうのクリアファイル製作。

その他の団体からも、トイレの提供、防犯ジャンパーの製作、防犯パトロールの実施、古くなったシンボルマークポスターのリニューアル等が報告された。本年度は、茨歯会会員からの事例報告はなかった。

(3) 警察からのお知らせ（防犯CSR活動について）～安全・安心なまちづくり推進室

○CSR (Corporate Social Responsibility) : 企業の社会的責任

- ・企業が利益を追求するだけでなく、組織活動が社会に与える影響の責任を持ち、ステークホルダー（利害関係者）からの要求に対して 適切な意思決定をすること。

- ・社会貢献活動。

- ・防犯CSR活動を推進することで、「地域住民・地域社会」と「事業者」の双方がWin—Winの関係を構築することが基本的な考え方。

○具体的事例として、

- ・ひばりくん防犯メールの登録を推進するチ

ラシを事業のキャンペーン等で配布する。

- ・防犯メールの登録者拡大運動のチラシやポスターを作る。
- ・防犯キャンペーンで配布する啓発品の提供。
- ・防犯活動への参加。
- ・防犯グッズの製作。

今年に入ってから、相模原や札幌において女兒が連れ去られるという事件が相次いで発生しました。幸い無事保護されましたが、社会全体で子どもを守ることと、安全・安心なまちづくりを推進していかなくてはなりません。茨城県歯科医師会では、平成16年から「子ども・女性を守る110番の歯医者さん」としてネットワークに参加し、25年末で1,202診療所が登録されています。駆け込み事例が発生した場合は、子どもの保護と速やかな警察への通報をお願いします。また、犯罪に結びつくような事例ではなくて、気分が悪いとか道に迷ったとかトイレを借りたいとか、子どもが困ったときも親切な対応をお願いします。

最後に「防犯かさこじぞう」：地域安全五箇条を掲げ、報告とします。

か：鍵を掛けるべし

鍵かけは防犯の基本。ちょっとした間でも必ず鍵をかけましょう。

さ：散歩などの日課を利用して地域のパトロールをするべし

犬の散歩、ジョギング、買い物などに「パトロール中」と書いた反射タスキや腕章を身に着けるだけでも、立派なパトロール（防犯ボランティア活動）に様変わり。

こ：子どもたちの行動を見守るべし

登下校中や公園で遊んでいる子どもたちが、犯罪の被害に遭わないように、何気なく見守ってあげてください。

じ：じいちゃん、ばあちゃんをたすけるべし

お年寄りを狙った振り込め詐欺や悪徳商法等の被害が多発しています。地域のみなさんの目配り・気配り・心配りで、犯罪の被害から救うことができます。

ぞう：増加している犯罪などの情報を入手するべし

県警が配信する「ひばりくん防犯メール」などを通じて、地域で増加している犯罪等の情報を入手しましょう。情報を入手するだけでも被害防止に繋がります。

アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

所得保償保険

自動車保険

火災保険

小規模企業共済制度

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

(アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。)

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

理事会報告



第12回理事会

日時 平成26年2月20日（木）午後4時

場所 茨城県歯科医師会館 会議室

1. 平成25年度第4回業務・会計監査報告

2. 報 告

- (1) 一般会務報告
- (2) 結城市医療福祉費支給制度の対象年齢拡大について
- (3) 石岡市医療福祉費支給制度への公費負担番号導入について
- (4) エイズ治療拠点病院等連絡会議について
- (5) 疾病共済金の支払いについて

日立地区	1名	37日	37万円
珂北地区	1名	39日	39万円（打ち切り）
つくば地区	1名	23日	23万円
県西地区	1名	94日	94万円（打ち切り）
- (6) 平成25年分所得税青色申告決算書の調査について

270名を対象に調査する。

- (7) 各委員会報告について

学術委員会、医療管理委員会、地域保健委員会、専門学校

3. 協議事項

- (1) 入会申込の受理について

池野 貴仁氏（つくば地区）の入会を受理した。
- (2) 会員功労者、永年勤続職員、永年勤続従業員表彰について

会員10名、永年勤続職員2名、永年勤続従

業員表彰65名について承認した。

- (3) 市町村共済組合・警察共済組合歯周病検診について

消費税増税に伴う変更について承認した。

- (4) 茨城県歯科医師会入会案内パンフレットについて

標記パンフレットについて作成することとした。

- (5) 全身麻酔リーフレットについて

標記リーフレットについて作成することとした。

- (6) 公益社団法人取得後1年経過に伴うHPヘッダーデザイン変更について

標記デザインについて協議した。

- (7) 新しい国の予算について

標記予算について検討した。

- (8) 「脱タバコ宣言 行動規範」のさらなる実施を求める要望書について

標記要望書について確認した。

- (9) 講演会の案内について（主催 武田薬品）

主催が一般企業のため、有料にて案内することを承認した。

- (10) 平成26年度関東地区役員協議会について

2月中にテーマを決定することとし、サブタイトルも検討することとした。

- (11) 台風26号被害の見舞金について

次回までに内規を作成し、都度、理事会にて検討することとした。

会務日誌

- 2月20日 新規指定保険医療機関に対する個別指導が市町村会館にて実施された。
対象医療機関数 3
- 2月20日 第4回業務・会計監査の執行。業務並びに制度に関する監査（12月1日～1月31日）、
会計に関する監査（収支現況）を実施した。
出席者 鈴木監事ほか6名。
- 2月20日 第12回理事会を開催。入会申込の受理、会員功労者、永年勤続職員、永年勤続従業員表彰、県歯入会案内パンフレット、全身麻酔リーフレット、公益社団法人取得後1年経過に伴うHPヘッダーデザイン変更、新しい国の予算、「脱タバコ宣言 行動規範」のさらなる実施を求める要望書、講演会の案内、平成26年度関東地区役員協議会、台風26号被害の見舞金について協議を行った。
出席者 森永会長ほか18名
- 2月21日 都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局問題について協議を行った。
出席者 森永会長
- 2月22日 第11回広報委員会を水戸市内にて開催。会報2月号の校正、会報3月号の編集、茨城新聞歯科コラムについて協議を行った。
出席者 菱沼広報部長ほか9名
- 2月23日 全国7地区災害歯科コーディネーター研修会（関東ブロック）を開催。災害時の歯科保健医療の提供体制、身元確認作業の実施、各都道府県内および各都道府県歯科医師会間の連携について講演が行われた。
受講者 162名
- 2月24日 古河市と茨城西南歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調印式が古河市庁舎にて行われた。
出席者 森永会長
- 2月24日 県食育支援連絡会が県庁舎にて開催され、食育推進事業について協議が行われた。
出席者 藤田
- 2月27日 奥羽大学歯学部と奥羽大学歯学部茨城県同窓会と本会の間で身元確認活動に関する協定の調印式を執り行い、協定を更新した。
出席者 森永会長ほか3名
- 2月27日 都道府県情報管理担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、レセプト電子請求の猶予期間終了への対応ほかについて協議を行った。会議終了後、医療IT化についてのシンポジウムが行われた。
出席者 飯島理事

- 2月28日 こどもを守る110番の家ネットワーク会議が県警本部にて開催された。
出席者 長谷部理事
- 2月28日 都道府県医療計画及び災害医療における都道府県歯科医師会実務担当者連絡協議会が日歯会館にて開催され、「医療計画及び災害医療への対応について（案）」について協議が行われた。
出席者 小鹿副会長
- 3月 1日 多職種協働によるチーム医療推進事業シンポジウムが日歯会館にて開催され、基調講演・パネルディスカッションなどが行われた。
出席者 北見地域保健委員長ほか1名
- 3月 5日 茨城歯科専門学校において卒業式を挙行。歯科衛生士科50名、歯科技工士科11名の学生が本校を卒業した。
- 3月 6日 本会と連盟の間で懇談会を開催。関東地区役員協議会の開催ほかについて協議した。
出席者 森永会長ほか3名、高野連盟会長ほか4名
- 3月 7日 茨城政経懇話会3月例会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催された。
出席者 森永会長
- 3月 7日 四師会災害連携協定が県医師会にて行われ、四師会各会長による協定書の署名の後、記者発表、質疑応答が行われた。
出席者 森永会長ほか1名
- 3月 8日 都道府県社会保険担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催され、平成26年度診療報酬改定に係る改定内容についての説明が行われた。
出席者 榊社会保険部長ほか4名
- 3月 9日 全国共通がん医科歯科連携講習会を本県にて開催。がん医療に携わる人材育成事業、周術前・周術期、在宅を含めた緩和ケアに携わる歯科医師の人材育成を目的に、DVDによる講習会の後、質疑応答が行われた。
受講者102名
- 3月 9日 第7回学術委員会を開催し、ダイレクトクラウン講習会、日歯生涯研修セミナー、茨城歯科医学会・抄録・講演について協議を行った。
出席者 岡崎学術部長ほか10名
- 3月11日 東日本大震災より三周年を迎えるに当たり追悼・復興祈念式典が県庁舎にて行われた。
出席者 森永会長
- 3月12日 内外情勢調査会3月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 3月12日 県エイズ対策委員会が県庁舎にて開催され、エイズ治療拠点病院の取り組み等ほかについて協議を行った。
出席者 村居常務
- 3月13日 第2回一般入学試験を実施。歯科衛生士科に2名、歯科技工士科に1名の受験者があり、同日行った合否決定委員会にて、歯科衛生士科は2名、歯科技工士科は1名を合格とした。

- 3月13日** 第8回地域保健委員会を開催。来年度事業概要について協議を行った。
出席者 渡辺地域保健部長ほか10名
- 3月14日** 第175回日歯代議員会が日歯会館にて開催される（～15日）。公益社団法人移行後の運営に係る諸規則の一部改正、諸規則や福祉共済規則及び年金規則の一部改正、平成26年度の事業計画、収支予算などについて協議が行われた。
出席者 森永日歯代議員ほか2名
- 3月14日** 栃木県、群馬県および本県による北関東地区歯科医師会役員連絡協議会がアルカディア市ヶ谷にて開催。北関東地区歯科医師会役員連絡協議会規約について協議を行った。
出席者 森永会長ほか5名
- 3月16日** 第6回社会保険委員会を開催し、診療報酬改定に伴う新点数の各地区説明会について協議を行った。
出席者 森永会長ほか23名
- 3月17日** 県医療安全対策委員会が県庁舎にて開催され、平成24年度医療安全相談センターの相談受付状況ほかについて協議を行った。
出席者 村居常務
- 3月17日** 県糖尿病対策検討部会が県庁舎にて開催され、第6次保健医療計画（平成25～29年度）ほかについて協議を行った。
出席者 渡辺常務
- 3月18日** 鹿嶋市と鹿嶋市歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調印式が鹿嶋市庁舎にて行われた。
出席者 森永会長
- 3月18日** 鉾田市と鉾田市歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護に係る協定を締結し、その調印式が鉾田市庁舎にて行われた。
出席者 森永会長
- 3月19日** 神栖市と神栖市歯科医師会の間で災害時の歯科医療救護についての協定を締結し、その調印式が神栖市庁舎にて行われた。
出席者 森永会長
- 3月19日** 県地方薬事審議会が県薬剤師会館にて開催され、茨城県薬事法施行細則等の改正（案）ほかについて協議を行った。
出席者 森永会長



第22回茨城県歯科医学会開催

学術委員会 今湊 良証

2014年2月9日（日）第22回茨城県歯科医学会（併催 第35回茨城デンタルショー）が水戸プラザホテルにて開催されました。

20年振りとなる記録的な大雪のため、交通機関がマヒ状態（常磐線運休多数、高速道路通行止）にもかかわらず、歯科医師232名 歯科衛生士79名 歯科技工士32名 他多数で698名の参加者で、外は銀世界でも、学会場は熱気で盛り上がりました。

開会式で森永会長の開会宣言の後、テープカットが行われ多くのプログラムが各会場に分かれて開催されました。



一般口演は18題の発表がありました。昨年に引き続き茨城歯科専門学校衛生士科学生の発表もありました。質疑応答、意見交換も行われ充実した内容でした。

ポスター発表は14題の発表がありました。技工士科学生の発表もあり、沢山の方がポスターに入っていました。

テーブルクリニックは東京歯科大学教授 古澤成博先生、筑波大学教授 人見重美先生、栃木県歯科医師会の先生を含め午前午後、計5題の講演が行われました。

県民公開講座は、公開講座Ⅰ「歯がいい人はボケにくい—歯と口から始めるアンチエイジング—」と題しまして日本歯科大学附属病院臨床教授 倉治ななえ先生に御講演いただきました。実習エクササイズを行い会場全体が一体となりました。



公開講座Ⅱ「なぜ、かかりつけ歯科医がいる人は長生きか」と題しまして首都大学東京 大学院教授 星 旦二先生に御講演いただきました。調査研究データからそのメカニズムを明示いただきました。

公開講座Ⅲ『弁当プロジェクト—「食べる」を育てる・維持する・補う—』と題しまして、いばらき専門カレッジリーグ、茨城県歯科医師会、食文化研究会により行われました。



いばらき専門カレッジリーグ学生の発表後、シンポジウムでは「健康生活のための咀嚼機能向上」と題しまして松本歯科大学教授 増田裕次先生、「歯科保健を一層推進するために必要なこと―新潟県における歯科保健の取組から―」と題しまして新潟県監査委員 石上和男先生に御講演いただきました。



その後、「機能を補う」楽食弁当、公募で表彰した「噛むかむレシピ」の「機能を維持する」噛むかむ弁当、「機能を育てる」スローフード弁当を提示し、三期それぞれのメニューの一部を試食し、考察しました。



地域保健委員会は「あなたは生活習慣病をどのように説明できますか、どのように効果的な指導に結びつけられますか」と題しまして小林 淳先生に御講演いただきました。

介護保険委員会は「歯科医に必要な食支援法」と題しまして昭和大学教授 弘中祥司先生に御講演いただきました。

障害児・者シンポジウムでは「1都4県口腔保健センターにおける障害児者歯科医療の取り組みと課題」と題しまして、東京歯科大学副学長 石井拓男先生、辻野啓一郎先生、高野宏二先生、山口さやか先生、小峯久直先生、大森勇市郎先生に御講演いただきました。



茨城県女性歯科医会は、「宇宙よもやま話」と題しまして向井万起男先生に御講演いただきました。

鈴木昇一先生の「写真道場へようこそ！」は16回目を迎えました。

茨城県歯科衛生士会は橋本貞充先生、茨城県歯科技工士会は今牧 謙先生に御講演いただきました。

茨城歯科専門学校 歯科衛生士科と歯科技工士科の紹介をロビーにて行いました。

第3回噛むかむレシピコンテストの作品紹介と表彰式も開催されました。県内各地から過去最多235作品の応募の中より小学生の部4作品、一般の部8作品が「噛むかむレシピ賞」に選ばれました。

学校歯科委員会は、学校歯科検診の検診基準についてポスター展示しました。

厚生委員会は、なでしこ室内楽団の弦楽三重奏・ミニコンサートを行い、癒しのひと時となりました。

ランチョンセミナーは、「エアフローを用いた効果的な臨床応用」と題しまして河合竜志先生に御講演いただきました。事前予約の受講者は美味しいサンドイッチのランチを頂きながらも、演題に聞き入っておりました。

第12回福田賞は、茨城県歯科医学会において長年にわたり臨床と研究の成果について数々の優れた発表を行い、会員の歯科医療医術の向上に多大な貢献をして頂いております水戸市歯科医師会の木村利明先生が受賞されました。おめでとうございます。

また、併催した第35回茨城デンタルショーは、63社が出展し歯科用機材などの展示を行い、各ブースとも盛況でした。

現在、学術委員会では、第22巻 茨城県歯科医学会誌を編集中です。今夏には発刊予定です。一



般口演、テーブルクリニック、ポスター発表、各企画などの事後抄録は第22巻を今暫くお待ちください。

歯科医学会は年々、少しずつではありますが、その規模を拡大前進しております。今後も更なる発展のため、会員の皆様のご協力よろしくお願い致します。

今年は残念ながら大雪のため、来場出来なかった県民、会員が多数おられたと思います。次回第23回茨城県歯科医学会は来年2月22日（日）水戸プラザホテルにて開催されます。是非とも皆様の発表、参加をお待ちしております。

全国共通がん医科歯科連携講習会(茨城県開催)

学術委員会 白澤 光二

啓蟄の過ぎた晴天の平成26年3月9日（日）、茨城県歯科医師会館講堂において、第1回がん医科歯科連携講習会が開催されました。90名余りの先生が出席致しました。

はじめに、茨城県歯科医師会の森永和男会長よりご挨拶が、次に趣旨を学術担当の岡崎恵一郎理事より説明がなされました。

この講習会は、岡崎理事の言葉を拝借すれば、目的は、がん医療に携わる人材育成事業、周術前、周術期、在宅を含めた緩和ケアに携わる歯科医師の人材育成であり、厚生労働省から日本歯科医師会への委託事業として行われるものであり、全国がん診療医科歯科連携推進事業計画（平成21年～27年）の最後の3年間の事業で、今回平成25



年度から3年間、日本歯科医師会主催、茨城県歯科医師会共催で行う訳であります。

具体的には、全国共通レベルとする（内容を担保する）ため、DVDを視聴するもので、下記の通りになります。

午前中は、

①がん治療総説

講師：若尾文彦先生（国立がん研究センターがん対策情報センターセンター長）

②がん手術と口腔ケア

講師：上野尚雄先生（国立がんセンター中央病院 歯科医長）

③がん薬物療法を受ける患者の歯科治療・口腔ケア

講師：大田洋二郎先生（前静岡県立静岡がんセンター歯科口腔外科部長）

より行われました。

午後は、

④頭頸部放射線療法、放射線化学療法の患者への歯科治療・口腔ケア

講師：上野尚雄先生

⑤BMA（Bone Modifying Agents）の使用に関連する顎骨壊死と歯科治療・口腔ケア

講師：上野尚雄先生

⑥がん医療における緩和ケアと歯科治療・口腔

ケアに関しては、

1）緩和ケア概論

講師：三宅 智先生（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野教授）

2）コミュニケーション

講師：加藤雅志先生（国立がん研究センターがん対策情報センターがん医療支援研究部長）

3）がん終末期の患者における口腔ケア

講師：上野尚雄先生

⑦がん患者における歯科治療の実際：

1）頭頸部放射線治療後の患者における歯科治療事例

講師：上野尚雄先生

2）がん薬物療法中の患者における歯科治療事例

講師：大田洋二郎先生

によりそれぞれ行われました。

講演後、質疑応答があり、萩原敏之先生（茨城県立中央病院、茨城県地域がんセンター非常勤歯科医）と小島 寛先生（茨城県立中央病院化学療法センター長）が、ご丁寧に回答して頂きました。

終了後、3段階の連携区分についてそれぞれ段

階毎に登録するかどうか、選択して頂きます。

3段階の連携区分とは、

連携1：手術前患者を対象とした歯科治療と
口腔ケア

連携2：手術後がん化学療法を受けている患
者を対象とした歯科治療と口腔ケア

連携3：終末期・在宅がん患者を対象とした
歯科治療と口腔ケア

です。

連携登録区分選択後、茨城県歯科医師会が連携
するがん拠点病院等に修了証名簿が提出されま
す。

つまり、講習会受講→連携区分選択、名簿提出
→修了証交付という形で閉会となりました。

平成26・27年度には、多くの地区歯科医師会で
同様の講習会が、開催されるはずですので、皆さ
ん奮ってご参加下さい。



電話相談のお知らせ

現在、茨城県歯科医師会では会員の方々の様々な疑問、問題に対処できるよう以下の3名の
専門家と顧問契約を結んでおります。

顧問弁護士	大和田一雄氏	法律相談全般
医療アドバイザー	大曾根正幸氏	保険請求や各種届出などに関する事
社会保険労務士	皆川雅彦氏	従業員との労働契約、労務関連など

相談したい事柄がございましたら、お気軽に茨歯会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡
ください。各先生との相談の日程などの調整、あるいは後日回答できるように致します。ただし、
相談は無料ですが、その後は個別対応となります。



茨城県歯科医師会事務局

電話 029-253-2561
FAX 029-253-1075



小児の摂食機能療法と栄養士の役割

土浦心身障害者歯科治療センター

管理栄養士 手塚 文栄

村居 幸夫, 征矢 亘, 森永 和男

【求められるものは手抜き調理、栄養確保】

摂食機能療法では、歯科医師、歯科衛生士が口腔内外や食事場面を観察・評価し、摂食機能向上に役立つ食形態や介助方法、口腔のリハビリ方法やケア方法を患者・家族（主に母親）に伝える。それを受けて、栄養士は指定された食形態の食事をどう簡単に用意するか、作り手と一緒に考える。食事は1日3回。他の兄弟や祖父母などにおいて、家事、育児、通院、リハビリなどの中、三度三度準備するのはとても大変なことだ。しかも成長期なので、栄養面にも配慮が必要だ。栄養士には、作り手（主に母親）の負担を軽減しながら、最適の食形態の食事を用意し続け、摂食機能を上げることが求められている。

初回相談では、「これならやれそう」というイメージを持ってもらうのが大事な仕事だ。新しい技術より、今もっている調理技術や情報を引き出し、それを生かすように心がけている。

相談二回目以降は、実際に始めてみてぶつかった困りごとを質問されるようになる。決まったものしか食べない、ペーストを指定されたが嫌がってしまう、うまく作れない、療育センターなどの弁当をどうしたらいいか、外出や旅行、正月や誕生日、家族の入院などなど。一緒に知恵を出し合っていく。

また、栄養面の質問も多い。体重増加がこれで

いいか、何をどのくらい与えたらいいか、こんな食事で栄養は足りているか、など。栄養状況は摂食嚥下障害と関係が深い。やせすぎでも太りすぎでも摂食機能の発現を損なう。

やせの改善は、姿勢や寛容を上げ、摂食機能を上げることはよくある。また肥満の場合、主治医に注入量と内容の変更を提案したところ、体重が下がり、喘鳴といびきが減り、唾液の嚥下に改善が見られた例もあった。

栄養状態は、グラフなどで客観的に示すと説得力がある。そこで、摂食相談時には身体計測、身体観察を行っている。計測は、身長、体重、上腕周囲、上腕皮下脂肪厚、肩甲骨下部脂肪厚、下肢周囲など。観察は皮膚、髪、爪、呼吸、喘鳴などを観ている。これで、総エネルギーと蛋白質、微量栄養素の過不足を推定している。

栄養バランスは、よいバランスのものをみるのが早道なので、持参した弁当の中身を増減させてモデル弁当をその場で作る。私の弁当を見てもらうこともある。経管栄養の場合で問題があると感じた場合は、主治医に連絡して再考を依頼している。

便秘、下痢、食物アレルギーの質問も多いが、これも摂食機能に影響がある。摂食拒否が続くので検査してもらったら、アレルギー値が高かった、ということは数例ある。

回を重ねると、料理がマンネリ化したのでヒントがほしい、という声もよく聞かれる。こういうときは、摂食相談に通っているお母さんが作った簡単料理の写真を見てもらったり、筆者が簡単料理を持参して試食してもらおう。また、仲間作りもかねて、年数回お料理勉強会も開いていた。（平成24・25年度休止）

東日本大震災以来、災害時にどう備えたらいいか、備蓄できるものにはどんなものがあるかなども聞かれる。

【簡単調理例】

① 咀嚼かじり摂り、自食練習期

a 【炊飯器で作るお好み焼き】

油を塗った炊飯器に、お好み焼きの固めの生地を流して「炊飯」スイッチを入れる。

「保温」になれば出来上がり。野菜がとても柔らかくなり、押しつぶし練習から咀嚼練習、かじり摂りに移る頃に適した硬さになる。フライパンで焼くより野菜を多く入れることができる。



b 【炊飯器で煮物】

鍋で煮る代わりに炊飯器にみな入れて「炊飯」スイッチON。

煮崩れないので硬そうですが、歯茎で噛める硬さです。大根や玉ねぎ、キャベツ、鶏肉などは、押しつぶし可能になります。



② 嚥下押しつぶし練習期

c 【脱水ヨーグルト】

コーヒードリップを利用してヨーグルトを脱水。

もっちりして中期食になります。



【今後の課題】

患児の多くは、療育センターや保育園、幼稚園、特別支援校などにも通っていて、家庭以外でも食事を摂っている。摂食機能療法は最適の食形態と介助方法を日々続けていくことで効果が出るので、これらの施設と連携が取れるとよい。すでにいくつかの特別支援校、保育所、療育センターの栄養士、あるいは看護師、保育士などと連絡を取っているが、それぞれの工夫、お母さんたちの知恵を盛り込んだ冊子を作り、今後にも役立てたい。



【第22回茨城県歯科医学会参加】

■歯科衛生士科■

2月9日（日）水戸プラザホテルにて開催された第22回茨城県歯科医学会に、歯科衛生士科全学年が参加しました。

2年生は、例年と同様に歯科衛生士科全学年を対象としたアンケート意識調査を基に下記の演題で6名の代表者による一般口演の発表や学校紹介を行いました。

「生活習慣」小堀真穂さん

「口腔内管理」植竹佳菜さん

「風邪予防」磯山歩さん

「女性特有の疾患」丸山晴香さん

「ストレス」横田加代子さん

「歯科衛生士に対しての意識調査とこれから」

黒沢梨奈さん

また、今回初めての試みである、いばらき専門カレッジリーグ、茨城県歯科医師会と食文化研究会で「弁当プロジェクト」に取り組み、公開講座で発表をしました。本校では、学生から夏期休暇の課題として「よく噛むレシピ」を提出してもらい、その中から「噛むかむ弁当」と「女性向け弁当」を考案し、その内容を発表しました。

そして、噛むかむレシピの表彰式にて2年生加藤里菜さんの考案した「イカのバターソテー」、3年生石井美沙希さんの「オクラとおかかの和え物」、小椋沙耶さんの「梅入りご飯」が小鹿典雄校長から表彰され、また、1年生野上小百合さんが考案した「レンコンサンドバーグ」が、特に

「よく噛むレシピ」に相応しい内容として、森永和男茨城県歯科医師会長から表彰されました。



また、公開講座では、カレッジリーグ他校の発表や講師の先生方のシンポジウムを聴き、多職種との連携を図り、楽しい食の提供ができるよう努めていきたいと思いました。

1年生は「歯科医に必要な食支援法」、3年生は「歯周組織をもういちどみなおす—なぜ歯肉は健康でいられるの？歯肉の炎症とは？」のテーマを聴講しました。1年生はこれから歯科衛生士を目指すにあたって、3年生は国家試験を経てその後就職するにあたって、それぞれ考え、学ぶことが多くあったことと思います。

学生は、学会に参加したことにより、さまざまな刺激を受け、充実した一日だったことと思います。

（文責 保科）

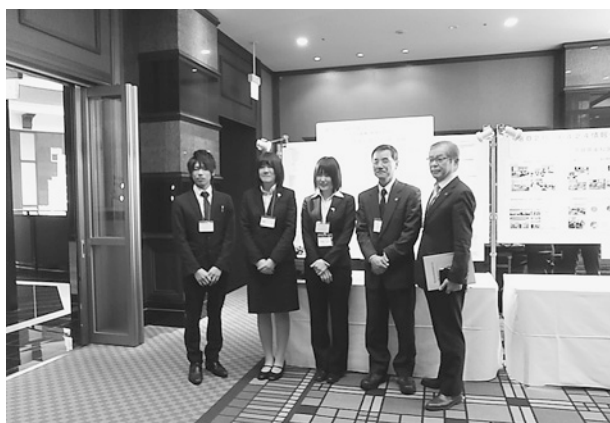
■歯科技工士科■

同じく、第22回茨城県歯科医学会に歯科技工士

科の1年生14名が参加しました。

10時からの歯科技工士会と共催する卒後研修会では、講師に横浜市で技工所を開設されている今牧謙先生を招聘し、「無理なく・無駄なく・より良い技工を進めるために」のテーマで講演いただきました。

講演では、「基本を覚えること」、「素材を知ること」、「基準を作ること」により臨床での様々なケースや状況に対応する応用力が身につくとされました。また、職業人・医療人として認められる為には個々の人間性の充実と社会性をもたなければならないと述べられ、ご自身の会社の社員教育や評価方法について紹介されました。最後に、学生には「素直な心」、「挑戦する心」をもって、これからの実習や歯科技工に臨んでほしいと話されました。



一般口演では専任教員の中村由紀子が「授業のあり方について」のテーマで発表しました。歯科技工士科1・2年生を対象に講義や実習についてアンケート調査を行ったもので、学生の意見、希望、受講時の様子を改めて確認できました。今後内容を検討し授業に役立てたいと思います。

1年生は「歯科技工士を目指して一日々の鍛練と気持ちの向上」のテーマで、入学してからおよそ1年間の学校生活で、歯科に対する意識がどのように変化したかを期間ごとにアンケート調査を行いポスター発表しました。また、学校紹介では1・2年生の実習作品を展示し、来場者に説明を行いました。

学会に参加し、講演や発表を聞くことや自身が発表することで、これから自分なろうとする職業の内容と社会における役割を認識することができたのではないかと思います。

(文責 山田)

茨歯アンテナ

2014年 3月8日（土）茨城新聞

災害時チーム医療強化

東日本大震災の教訓を踏まえ、県医師会と県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会は、四師会合同の医療救護班（JMAT茨城）設置を柱とする災害時協定を結んだ。

協定書の調印式が7日、水戸市笠原町の県医師会で開催され、トップ4人が署名した。

四師会は震災当時、個別に医療救護活動に当たっており、「横の連携が取れず効率が悪かった」（小松満県医師会長）ほか、長期避難者への対応にも課題を残した。このため、JMAT茨城は、災害派遣医療チーム（D

医師 歯科 薬剤 看護

四師会が協定

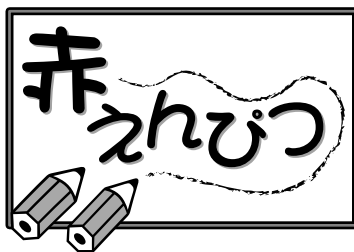


災害時協定を締結し、握手する県医師会など四師会のトップ＝水戸市笠原町

MAT）到着前の超急性期医療に当たるほか、DMAT撤退後は避難者の慢性的な病気を

や感染症への対応、誤嚥性肺炎を防止する口腔ケア、心のケアなどに取り組む。できるだけ早期に立ち上げ、年1、2回の合同訓練を実施する予定という。

（根本樹郎）
茨城新聞HPに動画



広報委員会 活動報告

2月22日（土）18:00より広報委員会が開かれました。今回は茨歯会報の校正のみならず、広報委員会の慰労会も兼ねています。どちらがメインかは言うまでもありません。あっさり40分ほどで校正終了後、居酒屋「美歌」にて慰労会の開始となりました。某地区新年会のようなお酒を求める怒号・歓声は無く、皆穏やかな中にも和気あいあいとした宴となりましたが、しばらくすると長期戦に備えて菱沼部長の充電が始まりました。歓談が一段落すると場所を変えて2次会（ではなく、広報活動）に突入。このあたりからA班ユニットリーダー小野先生の独壇場となりました。非常に積極的で、困った相手には、いやたとえ相手が困っていないくとも「一肌脱ぐ」性格であることがわかりました。（茨歯会報10月号地区通信において、西南地区会員の皆様は総じて温和で穏やかな方々で、、、自分はこの文章を思い出しましたが、どこにでも例外はいるものと1人納得）

また、県民は全て日本人とも限りません。異国の方への広報活動は、やはり語学力に秀でた楠美委員長の出番となりました。今回は多数の方が出席していた為、マイクを用いてのプレゼンテーションが行われました。地元鹿嶋市では頻繁にこのような活動を行っていると聞いています。複数の場所における広報活動が終了したのは午前2時過ぎ。8時過ぎに朝食会場で出会った先生方の目が虚ろだったのは言うまでもありません。

(hiro)

あの東日本大震災から3年たちました。少しずつ復興に向かい、ちょっと防災への意識が低下しそうになった2月。何十年ぶりという関東の大雪で、我が家はプチ震災状態?になりました。突然の停電と断水が午前1時頃から起き、停電は午後8時頃まで、断水は午後11時頃まで続きました。大雪で遠くへの買い物には行けず、食事は買い置きのパン、カップラーメンのみ。近くへ買い物に行けばコンビニでは電卓を使っただけの会計、ガソリンスタンドやお店は臨時休業。家の中でダウンを着込んで旧式の石油ストーブで暖を取り、照明は懐中電灯のみ、トイレを使うたびに風呂の残り湯をバケツで運んで流すと、防災を再確認させてくれた貴重な1日でした。（日中は道路と駐車場の雪かきに5時間かかり翌日の診療は筋肉痛でした）

(松)

2月号の歯科医師会報の表紙写真を何がいいかいろいろ考えましたが、普段から写真はあまり撮影する機会もなくいい考えも浮かばなかったもので以前から行ってみたかった八郷にあるぱぐ人形館に行ってきました。名前どおりのパグ犬の人形がたくさん飾られている人形館です。一番最初に飼った犬がパグ犬だった事もあり、ネットで初めて見て一度は行ってみたい場所でした。

カーナビを頼りに行きましたか、人もあまりいないような山の中の一軒家で、入り口で門番みたいなシェパード犬に吠えられながら入りました。

毎年何かテーマを決めて、パグの人形を作るそうで今年はいろいろな仕事テーマでした。女性

の方が一人で作っているそうで、規模はあまり大きくはありませんが、どれもすごくかわいらしく
歯医者さんのパグもいました。

今フレンチブルドックとミニチュアダックスを飼っていますが、またパグを飼いたくなりました。

5匹のパグも飼われていて、散々いじりまわしてついつい長居してしまいました。表紙写真には

撮影できませんでしたが、ぜひパグ好きにはオススメです。その後に茨城県フラワーパークに出かけて、表紙写真を撮影し八郷を満喫して帰りました。

今回こういった機会がなければ八郷に行く事もなかったかもしれませんので、次回はどうかと今から考えています。

(maru)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また支部や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯会事務局まで。

E-mail koho@ibasikai.or.jp

広報委員会

みんなの写真館

Photo
Gallery



百里基地航空祭

唯一飛行出来たのが百里救難隊のヘリコプターUH-60J、救難援助デモを披露してくれました。

その他、幾つか地上展示を紹介します。

某国の宇宙ロケット打ち上げの時に、日本各地に配備されたのが、このパトリオットミサイル。

軽装甲機動車 (Light Armoured Vehicle) 通称LAV。最高速度100km/h、160ps/rpm、4速AT、登坂能力 $\tan \theta 60\%$ 。

茨城空港を併設する百里基地では、官民のツーショットも。

(社)茨城西南歯科医師会 加藤 昌裕

会 員 数

平成26年2月28日現在

支 部	会員数 (前月比)
日 立	121
珂 北	143
水 戸	155
東西茨城	72 -1
鹿 行	102 -1
土浦石岡	175
つ く ば	116 +1
県 南	179
県 西	156
西 南	108
計	1,327 -1

みんなの写真館写真募集 !!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,139名
2種会員 46名
終身会員 142名
合 計 1,327名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 26 年 3 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘

編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。